

クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に

会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30~13:30
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：枘本 正樹 E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



<ランドラ>

本日のプログラム

	司会	会場委員会
・点鐘	会長 北 健司君	
・国歌	「君が代」	
・ROTARY SONG	「日も風も星も」	
・委員会報告		
・会長挨拶	会長 北 健司君	
・米山奨学生紹介	小川 茂徳君	
・米山奨学金授与	願 彬楠様	
・入会式	中澤 一君	
・幹事報告	幹事 青山 博徳君	
・点鐘	会長 北 健司君	

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「メンタルヘルス・マネジメント」

皆さんこんにちは。今日は新型コロナウイルスの影響で開催中止となった「メンタルヘルス・マネジメントをテーマとした公開セミナー」についてお話しさせていただきます。

ロータリークラブの職業奉仕活動を考える時、これまで職場例会と称して、さまざまな職場を訪問させていただき研鑽を積んでまいりましたが、職場例会でのロータリアンの研修とは別に、地域におけるロータリーとしての職業奉仕活動として、今年度は社会に有益と思われるテーマでの「公開セミナー」を開催したいと思います。テーマは「メンタルヘルス・マネジメント」であります。あえてこのテーマを選びました理由について触れたいと思います。

私が代表取締役社長として第一線に立っていた時のことです。今から20年ほど前になりますが、ある時、私は優秀な社員を手放すことになりました。或る日突然、彼が出社できなくなったことにただ驚きました。当時社内にはパワハラやセクハラと

6月：ロータリー親睦活動月間

例会	6月12日(金)	6月19日(金)	6月26日(金)
予定	通常例会 卓話 和田 了司君 稲垣 勝彦君	夜間例会(予定)	休会(定款8-1)

2020年6月5日(金)2444回(6月第1例会)

いったハラスメントは無く、まったく理由がつかめなかったのであります。彼は勤続5年目で、誠実で、顧客の信頼も厚かったのです。繊細なところはありましたが責任感も強く、私の期待する若者でした。

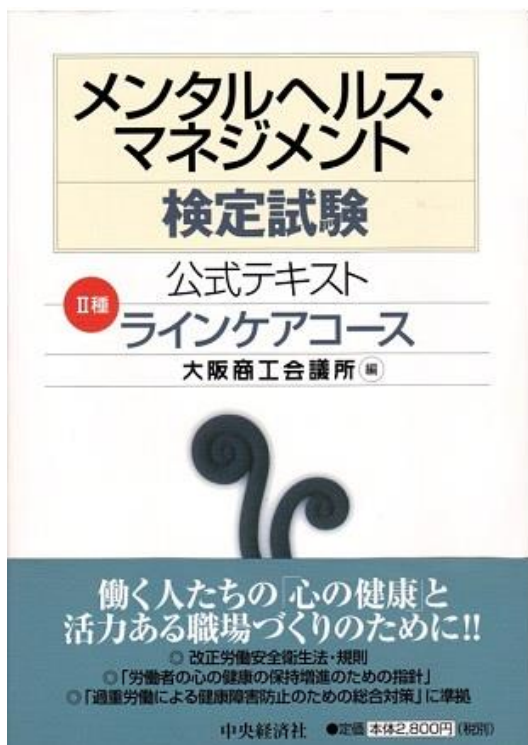
後にわかったことですが、彼は弊社の取り扱う商品が人命に深く関わることを敏感にとらえていました。生命維持に大きな役目を担う商品が、万が一にも重大な影響を及ぼすことがあってはならないと、過度な責任感に耐えきれず、「うつ」を発症していたのであります。

「うつ」と言うものは大変厄介であります。全国の勤労者の多くが悩んでおり、自殺者も毎年3万人を超えていました。企業における人材は企業生命そのものであり、宝であります。私は彼が弊社を去ってから大阪商工会議所が開催する「メンタルヘルス・マネジメント検定試験」を知り、2007年に開催された名古屋での第1回検定試験を受験しました。

「うつ」は社長からパート従業員まで誰でも発症する危険をはらんでいます。全ての就業者を「うつ」から守ることが事業を発展に導く第一歩ではないか。そんな思いで職業奉仕委員会の活動として公開セミナーの開催を強く望んだのであります。

今回の公開セミナーは春日井商工会議所様と、春日井市健康福祉課様も共催として参加して頂くことになっていました。クラブの自己顕示ではなく、有益な情報を必要な人に届ける実質的なセミナーとしたいと思っていました。

残念ながらセミナーは開催できませんでしたが、せめて春日井ロータリークラブの皆さんには「うつ」から社員を守る対策として「メンタルヘルス・マネジメント」に関心を持って頂ければ幸いです。これで会長挨拶とさせていただきます。



検定試験テキスト



検定試験合格証

幹事報告

幹事 青山 博徳君

・これからの RC 活動予定
 来週もプラザホテル勝川で通常例会です！！
 6月12日金曜 通常例会 (2445回6月第2例会)
 6月19日金曜 夜間例会 (2446回6月第3例会)
 第12回理事会はメール配信持ち回り理事会方式で行います (日程未定)

次回6月12日(金)も12時半から通常例会です。2階「さくらの間」全室(収容人員220名)使用のスペースを用意します。

配席・配膳に工夫を凝らしソーシャルディスタンスを十分に確保します

★整理の都合上・6月のニコボックスは受付にて現金でお願いします。

★体調に留意し無理なご参加はお控え下さい。

★例会はクールビズ対応ですが、マスク着用は必須です。

★緊急事態宣言再発令の場合は休止とします。

・通常例会の出席に関して

6月中の例会メイクアップに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念の為

会報をお読みにになり、2週間以内に事務局へコメントをお寄せ頂くことで出席扱いとさせていただきます。

プログラム委員会 委員長 古屋 義夫君

“ロータリーの友情に感謝をいたします”

本年度はフェローシップの向上を目指し皆様の卓話を中心に粛々と設営をさせていただいていましたが衆知の如く「新型コロナウイルス」により通常例会等を含めすべての行事が3月～5月末まで中止となりました。

突然のことであり例会プログラムをお預かりしている立場としては悩みましたがインターネットを利用したオンライン例会の開催しかないと考え国内、国外の殆どすべての“Eクラブ”のホームページを閲覧し研究いたしました。

そこで私が感じたことは「既存のオンライン例会はホームページと殆ど変わらないしこのままではつまらない」との単純でわがままな想いでした。

私はメンバーの皆様に通常の例会に出席しているようなリアルな臨場感を「オンライン例会」でも味わっていただきたいかったです。

私が最初に考えイメージしたのは Line、Skype、Zoom 等を利用した例会でした。

しかし実際に例会をシュミレーションしてみると、なかなか上手く運用ができません。Line 等のソフトを使用するにもある程度機能を覚える必要も生じて、とてもではありませんが”ぶっつけ本番”に近い状態では良い例会ができるイメージが沸きませんでした。

これらのソフトは理事会のように議事進行は議長がおこない少々のディスカッションと票決の必要な案件にこそ必要であるし適であると考えました。そして私見ではありますが現況での春日井 RC 例会には不向きであるとの結論に達しました(周到な準備が出来れば可能だと考えます)

それで悩んだ末に操作が簡単で臨場感の味をえるオリジナルのオンライン例会方式を閃き思いつきました(のちに勝手に Web 例会と命名させていただきました)

このシステムを真剣に考え構築作業を始めたのは3/8日曜日の夜の11:00頃でしたが試行錯誤して翌朝の朝8:00頃に基本的な骨子は完成しました。特徴としては…

①YouTube (非公開) 動画を使用し実際の例会に出ているような臨場感を味わえること。

②パートに細分化することで分業が可能で「三密」

とならないこと。

③Web 例会を閲覧参加することが特別な知識がなくても可能であること。

頑固で思い込むと決して引くことのない私のような人間に多くの関係者の方々は非常にお困りになったのではないかと推察いたします。

しかし一刻も早く例会を再開する責任がプログラム委員の私にはあると感じていました。

Web 例会を開催するため事務局の石田君の奮闘に加えいろいろなメンバーと遠隔ではありますが、ともに考え、ともに悩み作業をさせて頂くことができました。地味で目立つ事もなく手間のかかる裏方の作業に真摯に取り組んでくださる素晴らしい仲間ができロータリークラブでの友情を肌で感じる事ができたことを私は非常に嬉しく感じています。

卓話

成瀬 浩康君

近況報告

皆様お元気でしょうか。私は元気であります。

本日は2020年5月4日です。本来であればGWの真ただ中ではありますが、新型コロナウイルスの影響で皆様も自粛の真ただ中ではないかと思えます。

古屋プログラム委員長より5月29日のWeb 例会の卓話を依頼されましたので本日録画いたしました。自分の顔だけを見つめての卓話は何か調子が狂ってしまいました。

動画は引きつった顔と拙い話でございしますが、少しでもお付き合いいただきますよう、宜しく願いいたします。

さて、なぜ5月4日に撮影したかと申しますとそれには訳がございまして、実は今日でちょうど60歳、還暦を迎えた記念に卓話を映像として残してみようと思ったからであります。

私は、平成元年に父の死去と共にユーミンフード株式会社の代表取締役役に就任し、気が付けば私の人生の半分以上を社長として過ごしてきたことになってしまいました。

また、父は60歳と2か月で亡くなっていますので、父の寿命を超えるのも、もう間近となってきました。還暦を機にこれからの事を考えようと思って矢先、このコロナウイルスが襲い掛かってきました。せっかくそろそろ楽にと思っていたのに、神様も意地悪なもので、この苦難を乗り切るまではもっと頑張らなければならないのでしょう。

弊社の今の状況はと申しますと、飲食・サービス業ということもあり2月下旬の安倍首相の自粛要請以後パタリと受注が止まり、翌日からは電話、FAX、メールですでに受注していた分のキャンセルの嵐がやってきました。

例年3月からGWにかけての春先は、様々なイベントが満ち溢れており、卒業式、花見、入学式とそしてプロ野球の開幕と弊社の繁忙期であるはずでした。

しかし今年は自粛自粛で受注台帳にはキャンセルの✕ばかり。そして本来なら2月末から始まる予定のプロ野球のオープン戦もすべて無観客で行われたためナゴヤドームの店も休業。開幕もできず、交流戦も中止になり、いつになったら開幕できるかは全くの白紙状態です。

他にも葬儀関係の料理の仕事もさせて頂いておりますが、そちらも減少しております。

何しろ葬儀の参列者の人数が激減しています。こんな時期ですので遠方の親戚の方とかはお呼びにならなくなっているそうです。そして普段は葬儀の後の会食で親戚の方をもてなしますが、今は半分ぐらいの方はされません。される方でも本当に身内だけでされるので以前の平均人数の1/2~1/3ぐらいの数量になってしまっています。

今は何にせよ、コロナと自粛の嵐が過ぎ去るのをじっと待つしかない状態です。

プライベートの近況を報告させていただきますと、出産のために帰省しておりました長女がこの2月29日に初孫（希帆）を無事出産いたしまして、ついに私もお爺さんということになってしまいました。

娘たちは東京に住んでいますので、2ヶ月も過ぎたので、そろそろ東京に戻らなければいけないのですが、東京の今の状況が悪くて躊躇しています。住んでいる場所が親方と力士の何人かがコロナウイルスに感染した高田川部屋のすぐ近くにあり、いつも買い物で利用するスーパーでよく彼らに出会うからであります。

そして次女はすでに入籍は済ましていますが、本当ならばこの5月9日に結婚式と披露宴を行うことになっておりましたが残念ながら延期といたしました。楽しみにしていたアメリカのディズニールランドへの新婚旅行も7月に予定しておりましたがこちらも延期。本当にかわいそうです。成瀬家では、初孫の誕生、次女の結婚式そして私の還暦祝い等、美味しいお酒を飲めるイベントが目白押しのはずでしたが残念ながら自粛です。

そんな自粛生活の中での見つけた唯一の楽しみがあります。

普段はスポーツジムで体を動かしていましたが、そのジムにも行けなくなったため体力を持て余しておりました。3歳のラブラドルレトリバーの愛犬「ゆば」の散歩を最近は毎日、家内に代わって行くようになりました。それまでも時々はしていたのですが、今は朝晩各1時間ずつ連れて歩いております。

「ゆば」とは同じ部屋で寝起きしておりますのでそれ以後、毎朝だいたい5時過ぎには散歩に連れて行けと起こされます。また、夜の散歩は夕食後なので食事中はじっと私を見つめて食事が終わるのを待っております。

暇つぶしの気まぐれで始めてみた散歩ですが、今では生活の一部となってしまいました。ただ、この自粛生活が終わるとどうなるのかという事が一番の悩みです。仕事や会合で夜遅く帰るようになれば当然行けなくなりますし、朝もちゃんと起きられるか心配です。どうやらコロナウイルスが収束した後は自分自身との戦いが待っているようであります。

最後にロータリーの活動についても少し述べさせていただきます。

次次年度におきまして春日井RCの会長職を賜るわけですが、まだ具体的なこれという活動方針は立っておりません。

しかし、私がこのクラブに入会以来、外部の人に春日井RCはこういうことをやっているんだと胸を張って言えることがほとんどありませんでした。ですから継続的な奉仕活動を何かしら事業として残したいと思っています。春日井RCの活動といえばこれ、といえるような事業を考えていきたいと考えております。その折には、是非とも皆さま方のご協力をお願いいたします。

まだまだ自粛生活は続くことになりそうですが、皆さま方におかれましても、くれぐれも感染なされぬようご自愛頂き、Web例会ではない通常の例会で、一日も早くお会いできる日を楽しみにしております。

卓話

大原 泰昭君

4月7日より特定警戒都道府県に緊急事態宣言が発出され4月16日には全国に広がりました。ステイホーム・自粛の中、ロータリーの活動をはじめ、様々な行事が中止・延期となっております。私の仕事は、外の作業が多い時期と重なったので、大きな影響もなく進められているため、普段通りの仕事に費やす時間と自粛生活との毎日にモヤモヤとした気持ちを感じる日々を過ごしております。

今回のコロナウイルス・緊急事態宣言によって、直接的・間接的に被害を被った企業が多数存在します。その中には、テイクアウトや通信販売に活路を見出すことができた飲食店や物販店、現段階ではあまり影響を受けていない土木建設業、人の密集・密接事態が職場・仕事の飲食店・接客業・娯楽・ライブハウス・芸能活動等、テレワークやリモート会議で以前と同様の業務ができる企業、業態を変えて順応できている企業、と対応しきれない企業との差が

明るみになってきます。

コロナウイルス発生前の生活がスタンダードとするならば、現在の生活は異常といえるでしょう、しかし現在の生活がスタンダードとしなければならない時代になってきたと認識せざるを得ない気がします。

ロータリークラブでも2019-2020年度の後半の活動が中止され、2020-2021年度も不確実な未来の不安の中での事業計画となっております。このような時期に再来年の幹事として大きな希望と抱負を皆様にお話しすることはできませんが、卓話の機会をいただいたので、私のロータリアンとしての短い経験に沿ってお話をさせていただきます。

2014年加藤久仁明会長のときに入会しました。入会のきっかけは、加藤会長からの「入れ！」の一言でした。春日井青年会議所に入会したときの理事長が加藤久仁明先輩でしたので、ありがたいご縁をいただきました。入会後は、和田委員長・岡島委員長の親睦委員会でロータリアンとしての親睦を学ぶというより、只々楽しませていただきました。

2017年度には、親睦委員会の委員長そして、楽しいだけの親睦から奉仕活動に繋がる親睦を目指して活動したつもりです。2018年度には、加藤久仁明ガバナー補佐の下、分区副幹事として出向させていただきました。ロータリークラブの地区や分区のことを全く知らない立場で成瀬分区幹事に付き添って行動していただけですが、地区のスタッフ、地区・分区内のクラブの活動・運営方法に接することができ、春日井ロータリークラブとしても真似したい事や改めて春日井ロータリークラブの素晴らしさを認識することができ、大変貴重な経験をさせていただきました。2019年度は国際奉仕委員長として国内の外国籍の方たちとの交流やセブRCとの「あしなが事業」の再開に向けた構想を立てる予定でしたが、現状のとおり、計画通りに活動できていません。今後も直ぐに対外的・国際的な活動を再開できる見込みが薄いので、現在、ささえ愛センターの林所長にご協力をいただき、市内の外国籍の子どもたちに、休校と自粛生活を労い、学校再開の時の役に立てるよう、文房具セットを寄贈できるように和田エレクトにお問い合わせをして計画しております。

今やれることを急ぎ、今後やりたいことをじっくり考えたいと思います。今は不要で不急なことも、必要だから急いで行動に移すことと、本当に必要だから急がないことを見極めて、間もなく訪れる収束に向けて準備をする必要があると思います。

今苦しい時期を乗り越えたら、倍返しで良い時代が返ってくると願っています。



会長挨拶 北 健司君



国際奉仕委員会：市内在住の日本語教育が必要な児童・生徒への支援



卓話 成瀬 浩康君



卓話 大原 泰昭君

フェイスシールドを春日井市民病院に寄贈

令和2年6月2日（火）北会長・川瀬直前会長・青山幹事の3名で春日井市民病院・成瀬院長様・橋本課長様へRCロゴ入り・フェイスシールドを寄贈しました。

新型コロナウイルス感染症対策は緊急事態宣言が解除されたとはいえ、今後2次、3次の感染拡大も危惧され、PCR検査など、引き続き感染の矢面に立っての治療をされる中で、春日井ロータリークラブが国際ロータリー2760地区ガバナーの協力により春日井市民病院様へ贈呈させていただくこととなりました。

